

# ボランティア紹介

今回は、西尾張ブロックボランティア集會にご出展いただいた、「使用済切手整理ボランティア」さんをご紹介します。

## Q1. 現在どのような活動をされていますか？

集められた使用済切手を整理して、海外での医療を支える団体に送っています。  
また、お手玉作りも行い、みんなで手を動かしながら和気あいあいと会話を楽しんでいます。



## Q2. 活動日、場所は

毎月第1・3金曜日 午後1時30分～3時30分  
一宮市高齢者生きがいセンター2階ボランティア室  
(一宮市木曾川町黒田字西沼51番地)

## Q3. 西尾張ブロックボランティア集會に参加されてどうでしたか？

たくさんの方がブースを訪ねてくれました。使用済切手をたくさん持って来て下さり、中には私たちの活動を参考にボランティアを発足させたいという方にも会うことができました。また、お手玉にも興味を示され実際に一緒に作って頂き、交流することができました。  
ただ、みんな交代で他のブースを回り交流しましたが、全部を回るには時間が足らなかったことが残念でしたが、今後またこのような出展の機会があれば、参加していきたいと思います。

## Q4. 何かPRされたいことは？

最近、使用済み切手が少ないので集めていただける方にご協力お願いいたします。また、高齢者施設、学校等にお手玉を差し上げています。個人の方でも大丈夫です。1袋5個入りを個人の方1袋、団体等は10袋までお渡しできますので、ご連絡下さい。活動日に直接取りに来ていただくか、活動日以外でしたら、一宮市社会福祉協議会木曾川支部 (Tel 87-2000) までお問合せ下さい。



## プチ防災情報

じゅえんりよく

## 『受援力』という言葉、聞いたことありますか？

災害発生時、ボランティアさんなどの「支援力」に対して、支援を受ける力、それが「受援力」。

支援者が十分な力を発揮するために、支援を受ける側も「助けられ上手になる」、つまり、支援を受け入れる体制を整えておくという考え方です。

他人からの支援を受けることは、少なからず抵抗や戸惑いがあるかもしれませんが、その後の生活の立て直しや復興のスピードは大きく変わってしまいます。

日頃から、自分が今どのような状況なのか積極的に伝えていく、地域でのつながりを深めて情報を共有していくなど、「受援力」を高めていくことは、地域の「防災力」向上にもつながっていきますので、ぜひ、日頃からできる準備として、「受援力」について考えてみてください。

一宮市内では、「受援力」を高める活動の一環として、日頃からひとり暮らし高齢者の見守りや、防災マップづくりに取り組まれている地域もあります。

また、一宮市では、個人が「受援力」を高めておく手段として、「災害時要援護者支援制度」という制度があります。避難などに支援を必要とする人が自ら登録し、平時から地域の支援者なども含めて見守っていく仕組みです。対象者など詳しくは市役所福祉課 (Tel 28-9015) へお尋ねください。